

## オカボノクロアブラムシなど

6月，ハルニレの葉に長さ約7～8mmの赤いコブができる。春はコブの中にアブラムシがいる。夏以降，コブは茶色に変わり，アブラムシはみられない。

時に多発する。木が衰弱したり，枯れた例は知られていない。オカボノクロアブラムシほか数種のアブラムシがハルニレに似たような虫コブを作る。



1. 虫えい（高さ8mm），1996/6/17.



2. 虫えいの内部. 1の虫えいの一部.

美唄市，庭のハルニレ.

【学名】 *Tetraneura nigriabdominalis* and *Tetraneura* spp.

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， アブラムシ科 (Aphididae)

### 【生態】

卵で越冬。早春に孵化し，新葉の葉裏で吸汁加害する。この刺激で葉表に虫えい（コブ）が形成される。

虫えいの中で繁殖する。夏に翅（はね）のある雌成虫が現れ，虫えいから脱出してオカボなどイネ科植物に移住する。夏から秋はオカボの根で繁殖する。

10月にハルニレに戻って来て，産卵する。

### 【被害】

街路樹などで多発することがある。虫えいは目立つが，木の生長や生存に影響を与えるほど多発した例は知られていない。

多発すると晩秋にハルニレの周りを膨大な数の成虫が飛び，遠目に煙のようにみえることがある。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

オカボノクロアブラムシなど abura/okabono/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂，北海道立林業試験場，2001/8/15.

musi.JPG, kobu.JPG

